

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	千島体育館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育館は、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績(体育館)

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		92.0%
達成率		115.0%

2 管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		0.0%

利用状況（メインアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	83.7%	86.6%	-2.9%

利用状況（サブアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（柔道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	25.0%	27.3%	-2.3%

利用状況（剣道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	39.1%	34.2%	4.9%

利用状況（会議室大）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	43.5%	49.6%	-6.1%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（会議室中）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	11,200,000	12,161,424	0	
	計画	11,200,000	8,400,000		
利用料金収入	実績	21,113,490	13,590,010	3,113,490	稼働率が向上し利用料金収入が増加したため
	計画	18,000,000	19,200,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	11,310,488	10,512,282	1,210,488	物販収入が好調のため
	計画	10,100,000	2,600,000		
合計	実績	43,623,978	36,263,716	4,323,978	
	計画	39,300,000	30,200,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,795,016	13,739,070	795,016	
	計画	14,000,000	12,300,000		
物件費	実績	20,147,705	15,793,586	3,647,705	想定外の大型修繕が数件発生したため
	計画	16,500,000	15,800,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	11,105,978	9,307,601	2,305,978	教室収入が伸びた事に比例し経費も増加したため
	計画	8,800,000	2,100,000		
合計	実績	46,048,699	38,840,257	6,748,699	
	計画	39,300,000	30,200,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	115.0%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・白黒印刷を標準化する。 ・社内文書を印刷する際に、裏紙を再利用する。 ・印刷前にプレビューを確認し、印刷ミスを極力なくすように徹底する。 ・エアコンのフィルターをこまめに清掃する。 ・スタッフでできる修繕・清掃はスタッフでする。 ・新しく新調する際は省エネのものを選ぶ。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

千島体育館は創立50年となり老朽化の問題が常に課題となる。トイレが古い・和式トイレを洋式トイレにして欲しいというご意見は毎年挙げられる。昨年は指定管理者で3か所、洋式トイレに更新しましたが、全てではなく、未だに満足いただけていない。また、体育場以外の照明器具の老朽化、暗い、チカチカするといった意見もあり限界がきており、今後LED化が課題となる。その他、建築設備に関しても耐久年数切れものをよく把握し取り組んでいく必要がある。

6 外部専門家意見

施設が老朽化しており高い満足度を得ることが難しい状況下で、利用者満足度が目標値の115%となった点は評価できる。自主事業支出が計画値の1.26倍となっているが、自主事業収入が計画値の1.16倍にとどまっている。教室収入を115万円伸ばしたことは評価できるが、次年度は収支のバランスを考慮した計画を立てられたい。地域のイベントに参加してPRする等の努力をしたことで、利用料金収入を増加させた点は評価できるが、前年度と比して利用率が下がっている室が多いことから、次年度は回復を目指されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	港スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.4%
達成率		108.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.5%	98.0%	-0.5%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.2%	94.7%	2.5%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	81.6%	82.5%	-0.9%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	23,700,000	16,207,510	0	
	計画	23,700,000	16,000,000		
利用料金収入	実績	9,180,350	9,238,640	180,350	
	計画	9,000,000	9,400,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	7,841,536	7,769,325	441,536	
	計画	7,400,000	6,300,000		
合計	実績	40,721,886	33,215,475	621,886	
	計画	40,100,000	31,700,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,595,568	15,941,350	3,095,568	最低賃金UP及び給与のペースUPのため
	計画	13,500,000	12,400,000		
物件費	実績	19,312,402	16,424,661	-1,287,598	広告宣伝費を0に抑えられた事、設備更新等が無く設備保守費を抑えられたため
	計画	20,600,000	15,900,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	6,590,038	7,024,855	590,038	教室収入が伸びた事に比例し教室経費も増加したため。
	計画	6,000,000	3,400,000		
合計	実績	42,498,008	39,390,866	2,398,008	
	計画	40,100,000	31,700,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	108.0%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<div>・光熱水費削減・ ・利用者状況確認の上、巡回及び通常時に、電気の点灯、消灯。水道の止水。空調の自動OFF設定（男女更衣室）</div> <div>・第一体育場第二体育場・器具庫のLED化完了</div> <div>・体育場の照明及び器具庫の照明のONOFFを事務所に管理</div> <div>・節電の為、ロビー照明の間引き点灯。</div> <div>・冷暖房については、常につけるのではなく、その日の天気・気温・湿度を測り、競技によっても、利用者の希望を優先しONOFF</div> <div>・事務費で、カラー印刷の削減（複合機によるカウントチェック）、紙ベースを必要最低限にし、データ管理。</div> <div>・無駄な紙利用を削減・・・既使用分の再利用（裏面使用）。</div>	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<div><div><div>・アンケートを実施し、利用者の意見を施設運営に、出来る限り反映させる。</div><div>・ご意見箱をロビーに設置し、利用者の意見も施設運営に反映させる。</div><div>・利用者とコミュニケーションを図り、受付窓口やロビーでの情報交換にて要望・希望を聞き出す。</div><div>・教室担当、講師との意見交換の場を設け、利用者（生徒）の獲得の意見交換や運営の情報交換を行う。</div><div>・同様に利用者(生徒) の情報交換も行う。</div><div>・音響設備が古い事で、周波数の関係上、急に音が入らなくなったり、A s u eアリーナでの放送が入ったりする。（A s u eアリーナ設備での関連性があると業者からも言われている。）大阪市にも既に連絡済で令和 8 年度の計画に入っている。利用者には状況を説明を続ける。</div><div>・トイレのシューズ履きで履けるサンダルの対応(足数を徐々に増やしていく)</div><div>・その他設備の細かい故障等には出来る限り早く対応し、都度利用者には説明をしていく。</div></div></div>

6 外部専門家意見

<div><div><div>人件費について、昨今の人件費上昇の影響により職員の給与のベースアップを実施しながら計画値を上回ったことは一定理解できる。しかしながら、上昇率が20%強（123%）であることはいかななものかと思われる。</div><div>光熱水費が高騰している状況下で、物件費を計画値より抑えた点は評価できる。また、広告宣伝費を 0 に抑えながら、利用料金収入を計画値以上に得られた点も評価できる。</div><div>次年度以降も、民間のノウハウを発揮した積極的なPRの工夫や、潜在顧客のニーズ検討を通した新規顧客獲得への取組をすすめられたい。引き続き民間のノウハウの発揮に期待をしている。</div><div>昨年度と同様の施設利用率で、利用者満足度が目標値を上回っていることから、利用者が現状の施設運営に概ね満足されていることが分かる。引き続き、利用者アンケート等を参考により良い施設運営に努められたい。</div></div></div>
--

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大正スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体
指定期間	令和6年年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		81.0%
達成率		101.3%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.2%	97.3%	-0.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.7%	92.6%	1.1%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	64.6%	72.0%	-7.4%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	42,997,267	26,717,030	220,000	
	計画	42,777,267	26,600,000		
利用料金収入	実績	8,771,590	7,761,590	271,590	
	計画	8,500,000	9,200,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	9,596,611	10,017,892	-403,389	
	計画	10,000,000	7,000,000		
合計	実績	61,365,468	44,496,512	88,201	
	計画	61,277,267	42,800,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	29,090,295	26,448,301	3,090,295	最低賃金UP及び給与のベースUPのため。
	計画	26,000,000	15,600,000		
物件費	実績	31,708,650	25,696,311	4,508,650	修繕費が想定以上に発生したため。
	計画	27,200,000	19,000,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	6,558,137	7,649,303	-1,441,863	教室収入が減少したことに比例しダウンしたため。
	計画	8,000,000	8,200,000		
合計	実績	67,357,082	59,793,915	6,157,082	
	計画	61,200,000	42,800,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	101.3%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・各階ロビー、廊下の照明を間引点灯。 ・日中は明るさによって消灯・点灯をし節約。 ・体育場のLED照明、半灯にて電気代を節約。 ・コピー用紙の裏紙の再利用。 ・紙媒体でのチラシ等を節約し、近隣施設の掲示板にPOPを掲示したりホームページを活用する。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・施設利用者アンケートを実施し、結果・施設からの回答を館内に掲示する。
- ・卓球台の劣化が激しかった為、卓球台を一部更新した。
- ・各教室で教室内容を気軽に体験できるよう無料体験会を実施した。
- ・無料スタジオレッスン（ピラティス）を増設し、ジム・スタジオ利用者増となった。
- ・館内掲示物のデザイン統一化を図り、見やすくわかりやすくなった。
- ・シューズのまま履けるトイレ用スリッパを購入配置した。

6 外部専門家意見

人件費について、昨今の人件費上昇の影響により職員の給与のベースアップを実施しながら計画値を上回ったことは一定理解できる。

利用者満足度が目標値を上回っているものの、多目的室の利用率が約 7 % 下がっており改善の余地がある。突然のキャンセル等、何等かの事情があるかは推察するが、約 65 % という利用率は比較的低いことから、要因を分析のうえ次年度の取り組みに反映していただきたい。

収支状況について、若干の赤字となっているため新規顧客の獲得などにより経営状況の改善に努められたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大正屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		79.0%
達成率		98.8%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		94.0%
達成率		117.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	46,175	46,090	85
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,071	16,656	415
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	73,615,681	60,367,900	0	
	計画	73,615,681	60,000,000		
利用料金収入	実績	21,024,550	20,308,100	1,024,550	
	計画	20,000,000	29,200,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	40,536,906	32,854,544	15,536,906	教室事業が好調だったため
	計画	25,000,000	25,200,000		
合計	実績	135,177,137	113,530,544	16,561,456	教室事業が好調だったため
	計画	118,615,681	114,400,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	44,005,769	41,551,736	1,005,769	
	計画	43,000,000	51,000,000		
物件費	実績	57,681,387	53,178,294	-2,318,613	ガス使用量の削減に成功
	計画	60,000,000	53,300,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	20,179,273	12,199,850	5,679,273	教室事業の好調に比例し支出が増加したため。
	計画	14,500,000	10,100,000		
合計	実績	121,866,429	106,929,880	4,366,429	特になし
	計画	117,500,000	114,400,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（屋内プール）	98.8%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	117.5%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・各階ロビー、廊下の照明を間引点灯。 ・日中は明るさによって消灯・点灯をし節約。 ・体育場のLED照明、半灯にて電気代を節約。 ・コピー用紙の裏紙の再利用。 ・紙媒体でのチラシ等を節約し、近隣施設の掲示板にPOPを掲示したりホームページを活用する。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・施設利用者アンケートを実施し、結果・施設からの回答を館内に掲示する。
- ・卓球台の劣化が激しかった為、卓球台を一部更新した。
- ・各教室で教室内容を気軽に体験できるよう無料体験会を実施した。
- ・無料スタジオレッスン（ピラティス）を増設し、ジム・スタジオ利用者増となった。
- ・館内掲示物のデザイン統一化を図り、見やすくわかりやすくなった。
- ・シューズのまま履けるトイレ用スリッパを購入配置した。

6 外部専門家意見

無料スタジオレッスンにピラティスを取り入れるという、世間の流行を意識した自主事業の実施により、ジム・スタジオ利用者を増やした点は評価できる。また、自主事業の支出は計画値を上回ったものの、それ以上に収入が計画値は上回っており評価できる。

光熱水費が高騰している状況下で、物件費を計画値内に収められている。教室事業で収入を増やし、経営努力でガス使用量を削減したことで、全体の収支を黒字とした点は大変評価できる。加えて、収支を黒字に収めつつ、利用者の快適な利用に貢献する施設修繕・管理の実施ができている点も評価したい。

プールの利用者満足度がわずかだが目標値に達していないため、要因を分析のうえ次年度は改善を図りたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	